

平成26年6月 東京地区百貨店売上高概況

平成26年7月18日

I. 概況

1. 売上高総額	1,270億円余
2. 前年同月比	-4.1% (店舗数調整後/3か月連続マイナス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭-3.8%(89.7%) : 非店頭-6.7%(10.3%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 25店 (平成26年5月対比±0店)
5. 総店舗面積	856,760㎡ (前年同月比:-4.7%)
6. 総従業員数	19,257人 (前年同月比:-1.2%)
7. 3か月移動平均値 (店舗数調整後)	11-1月 4.2%、12-2月 4.2%、1-3月 12.3%、 2-4月 7.1%、3-5月 4.3%、4-6月 -6.3%

[参考] 平成25年6月の売上高増減率は9.4% (店舗数調整後)

【6月上の特徴】

- (1) 東京地区の入店客数は、各店で地方物産展等の集客催事を積極展開したものの、天候要因と土曜日減の影響が大きく、前年を1.5%程度下回る水準で推移した。
- (2) 父の日(6月15日)商戦については、前週の土・日が豪雨、当日がW杯サッカー日本戦のTV放映と、2週連続で週末に大きな影響を受け、都内各店とも苦戦を強いられた。
- (3) 消費税率引き上げ直後には、駆け込み需要の反動が強く出ていた高級時計(美・宝・貴:-12.5%/4月:-41.0%、5月-15.7%)等の高額商材が更に改善傾向を示した他、まとめ買いの反動が出ていた化粧品(-1.0%)については、ほぼ前年並みの水準まで戻している。
- (4) 降雨量の多い天候から、衣料品(-5.7%)のほか盛夏商材は全般的に低調だったが、その一方で、雨傘、レインシューズ、レインコート等のレイングッズは大きな伸びを見せた。
- (5) 東京地区でも、6月の中元商戦(その他食料品:-0.5%)は堅調に推移したが、内容的には最近の傾向であるネット受注と自家需要の伸びが目立った。
- (6) この結果、1-6月の累計では、売上高が7,736億円余(店舗数調整後:+3.0%/同調整前:+1.4%)となり、店舗数調整後・同調整前共に3期連続のプラスとなった。
- (7) 東京地区の7月中間段階(7月14日)までの商況は、上旬の台風8号本土上陸の影響などから、前年比約4%減で推移している。

【要因】

- (1) 営業日数増減 30.0日 (前年同月比±0.0日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数19店舗)
①増加した:4店、②変化なし:4店、③減少した:11店
- (3) 6月歳時記(中元、父の日)の売上(同上/有効回答数13店舗)
①増加した:1店、②変化なし:7店、③減少した:5店

東京地区百貨店 売上高速報 2014年06月

※店舗数調整後 ()が調整前

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	127,034,715	100.0	-4.1 (-7.1)
紳士服・洋品	10,070,845	7.9	-4.3 (-6.5)
婦人服・洋品	23,152,217	18.2	-6.4 (-10.1)
子供服・洋品	1,823,001	1.4	-3.8 (-5.3)
その他衣料品	2,451,900	1.9	-6.9 (-14.5)
衣 料 品	37,497,963	29.5	-5.7 (-9.2)
身のまわり品	17,009,033	13.4	-4.9 (-10.4)
化粧品	6,835,009	5.4	-1.0 (-1.2)
美術・宝飾・貴金属	7,574,632	6.0	-12.5 (-20.1)
その他雑貨	5,555,782	4.4	-2.6 (-2.6)
雑 貨	19,965,423	15.7	-6.1 (-9.7)
家 具	1,595,276	1.3	-7.9 (-21.2)
家 電	1,146,452	0.9	-7.1
その他家庭用品	4,313,936	3.4	-8.8 (-10.4)
家 庭 用 品	7,055,664	5.6	-8.3 (-12.6)
生 鮮 食 品	6,112,214	4.8	-1.0 (-1.8)
菓 子	9,352,148	7.4	0.1 (-0.8)
惣 菜	6,965,647	5.5	-1.6 (-2.7)
その他食料品	14,343,552	11.3	-0.5 (-0.8)
食 料 品	36,773,561	28.9	-0.6 (-1.3)
食 堂 喫 茶	3,176,219	2.5	-2.4 (-3.4)
サ ー ビ ス	2,258,186	1.8	0.5
そ の 他	3,298,666	2.6	-2.2 (-2.9)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率 (%)

※

商 品 券	4,831,498 千円	-8.3 (-8.6)
従 業 員 数	19,257 人	-1.2
店 舗 面 積	856,760 m ²	-4.7

営 業 日 数	30.0 日	前 年	30.0 日
---------	--------	-----	--------

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目は、3か月連続で全品目がマイナスとなった。先月二桁マイナスしていた家庭用品も一桁のマイナスとなった。また、菓子が2か月連続のプラスとなり、化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、家具、家電、生鮮食品、その他食料品が先月の伸びを上回り、主要品目も雑貨、家庭用品、食料品が改善した。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-4.1	—	3か月連続マイナス
紳士服・洋品	-4.3	-0.3	2か月ぶりマイナス
婦人服・洋品	-6.4	-1.2	3か月連続マイナス
子供服・洋品	-3.8	-0.1	3か月連続マイナス
その他衣料品	-6.9	-0.1	3か月連続マイナス
衣料品	-5.7	-1.7	3か月連続マイナス
身のまわり品	-4.9	-0.7	3か月連続マイナス
化粧品	-1.0	-0.1	3か月連続マイナス*
美術・宝飾・貴金属	-12.5	-0.8	3か月連続マイナス*
その他雑貨	-2.6	-0.1	3か月連続マイナス*
雑貨	-6.1	-1.0	3か月連続マイナス
家具	-7.9	-0.1	3か月連続マイナス
家電	-7.1	-0.1	3か月連続マイナス
その他家庭用品	-8.8	-0.3	3か月連続マイナス
家庭用品	-8.3	-0.5	3か月連続マイナス
生鮮食品	-1.0	0.0	3か月連続マイナス*
菓子	0.1	0.0	2か月連続プラス*
惣菜	-1.6	-0.1	3か月連続マイナス*
その他食料品	-0.5	-0.1	3か月連続マイナス*
食料品	-0.6	-0.2	3か月連続マイナス
食堂喫茶	-2.4	-0.1	3か月連続マイナス
サービス	0.5	0.0	7か月連続プラス
その他	-2.2	-0.1	3か月連続マイナス
商品券	-8.3	-0.3	38か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・西田まで
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>